

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37103	パーソナルスポーツ演習 Personal Sports Exercises	秦真人	○秦真人		1	選択	1・2前期
科目の概要							
現代社会において、健康で豊かな生活を送っていくための一手段としてスポーツは重要な役割を担っている。そうしたスポーツが生涯を通じての日常生活の中で習慣化されていくことは、今や必要不可欠となっている。以上の観点から生涯を通じて健康維持のために実践可能なスポーツとして、個人的に実践できるテニスとゴルフに取り組み実践し、その技能とゲーム運営方法等を習得していく。そして、その中で建学の精神と社会人基礎力、pisa型学力の修得をめざしていく。							
学修内容				到達目標			
① 生涯を通じて日常的な生活においても運動スポーツの重要性を学習する。 ② スポーツを通して、集団におけるコミュニケーション能力が身につくことを学ぶ。 ③ 基本的な運動技能を身につけ、日常生活における身体活動の円滑化を図る。 ④ ルールや運営方法を学び、生涯実践に結びつける。 ⑤ 全体を通じてスポーツ文化に対する理解を深め、スポーツ・運動実践の意識を高める方法を学ぶ。				① 日常生活の中で運動スポーツが習慣化できる。 ② スポーツを通してコミュニケーション能力を身につけることができる。 ③ 日常生活において円滑な身体動作ができる。 ④ 運営方法などを理解し、試合の運営能力を身につけることができる。 ⑤ スポーツ文化に対する理解を深め、スポーツ・運動の実践の意識を身につけることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	スキル練習や試合において自分の役割を積極的に果たす。					
	働きかけ力						
	実行力	個人スキルの向上やチーム目標に向かって粘り強く取り組み、目標を達成する。					
考え抜く力	課題発見力	自分のスキルの弱点を分析し、課題を見つけて対処する					
	計画力						
	創造力	新たな戦術・戦略を創り出す。					
チームで働く力	発信力	戦術・戦略面での自分の考えを発信する。					
	傾聴力	戦術・戦略面で、他人の考えをしっかりと把握する。					
	柔軟性						
	状況把握力	練習または試合のなかで、どういう場面であるかを常に把握して対処する。					
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし。必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「フィジカルトレーニング」、「エアロビクス」、「健康管理論」、「各スポーツ演習」、「生涯スポーツ」など 資格との関連：（レクリエーションインストラクター、スポーツインストラクター）							
学修上の助言				受講生とのルール			
難しい用語を暗記する授業ではない。物事の原理原則を皆さんの人生、日常生活やスポーツ活動の中で、どう役立っていくかについて学んで欲しい。				<ul style="list-style-type: none"> 必ず更衣をし、室内シューズとタオルを準備する。 携帯電話は必要ないので持ち込まない。 無断欠席はしない。必ず連絡・報告する。 出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		30	①		✓	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の課題に対して、しっかりと記録されているかどうかを評価する。 ・授業で学習した内容の理解度とその実践結果を評価する。 ・知識と技術の獲得とそれを活用し、ゲーム内での課題を解決できたかどうかのpisa型学力も評価する。
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
					⑤			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		60	①		<ul style="list-style-type: none"> ・学修内容について理解し、しっかりと実践されているかどうか評価する。 ・必要なスキルを習得し、実践（ゲーム）に活かしているかどうかを評価する。 			
			②					
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・前項に明記した社会人基礎力に関する行動事例に基づいて学修態度を評価する。（主体性） ・スキル練習や試合において自分の役割を積極的に果たしているか。（実行力） ・個人スキルの向上やチーム目標に向かって粘り強く取り組み、目標を達成しているか。（課題発見力） ・自分のスキルやチームの弱点を分析し、課題を見つけて対処しているか。（創造力） ・新たな戦術・戦略を創り出しているか。（発信力） ・チーム内で戦術・戦略面での自分の考えを提案することができているか。（傾聴力） ・チーム内で戦術・戦略面で、他人の考えをしっかりと把握することができているか。（規律性） ・遅刻・無断欠席など学習意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>授業で学んだ様々な知識を体系的に理解し、自分に合った練習方法を見つけて実践し、著しく個人スキルとチームスキルの向上が図れる場合A(優)。</p> <p>さらに、将来的に計画的に実践させることができると思われ、特に指導的立場にいると思われたらS(秀)となる。</p>	<p>授業で学んだ様々な知識を理解し、それを活かした練習計画が実践できると共に個人スキルの向上が図れた場合B(良)。</p> <p>授業に参加し、個人スキルの向上が図れなくても、主体的に行動することができればC(可)である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	パーソナルスポーツへの導入で実践するスポーツ種目を把握する。	講義。演習 教員からの説明と実際に準備	種目の理解と用具の扱い方など、次回から円滑に展開できる。	(予習) パーソナルスポーツ演習とはどのような授業かシラバスで確認する。 (復習) 用具の扱い方などを確認する。	90	課題発見力 傾聴力 規律性
2	テニスの基礎スキルの修得する。① グラウンドストロークの練習	演習 教員による模擬実践と説明後、実際にスキル練習(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	基本ストローク(グラウンドストローク)のスキルをある程度身につけて、簡易試合の中で活用できる。	(予習) テニスの基本ストロークについての知識を調べる。 (復習) 左記の基本ストロークの仕方を確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	テニスの基礎スキルの修得する。② サーブとロブショットの練習	演習 教員による模擬実践と説明後、実際にスキル練習(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	基本ストローク(サーブとロブショット)のスキルをある程度身につけて、簡易試合の中で活用できる。	(予習) テニスの基本ストロークについての知識を調べる。 (復習) 左記の基本ストロークの仕方を確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	テニスの基礎スキルの修得する。③ ボレーとスマッシュの練習	演習 教員による模擬実践と説明後、実際にスキル練習(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	基本ストローク(ボレーとスマッシュ)のスキルをある程度身につけて、簡易試合の中で活用できる。	(予習) テニスの基本ストロークとルールについて調べる。 (復習) 左記の基本ストロークの仕方を確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
5	テニスの試合をリーグ戦方式で実践する。① 戦術・戦略を練ることで、前週までに獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 総合練習後、総当たりの第1戦(復習内容の質問に対し口答でフィードバック) グループワークでアクティブ・ラーニング	・積極的に試合に参加して記録する。 ・ルールが守れている。	(予習) ダブルスの戦術について調べる。 (復習) ルールについて確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	テニスの試合をリーグ戦方式で実践試合をリーグ戦方式で実践する。② 戦術・戦略を練ることで、前週までに獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 総合練習後、総当たりの第1戦(復習内容の質問に対し口答でフィードバック) グループワークでアクティブ・ラーニング	・積極的に試合に参加して記録する。 ・ルールが守れている。 ・各戦術が使われている	(予習) ダブルスの戦術について調べる。 (復習) 使用した戦術について確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	テニスの試合をリーグ戦方式で実践試合をリーグ戦方式で実践する。③ 戦術・戦略を練ることで、前週までに獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 総合練習後、総当たりの第1戦(復習内容の質問に対し口答でフィードバック) グループワークでアクティブ・ラーニング	・積極的に試合に参加して記録する。 ・ルールが守れている。 ・各戦術が使われている	(予習) ダブルスの戦略について調べる。 (復習) ダブルスの戦術・戦略について確認し、次回に備える。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	テニスの試合をリーグ戦方式で実践試合をリーグ戦方式で実践する。④ 戦術・戦略を練ることで、前週までに獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 総合練習後、総当たりの第1戦(復習内容の質問に対し口答でフィードバック) グループワークでアクティブ・ラーニング	・積極的に試合に参加して記録する。 ・ルールが守れている。 ・各戦術が使われている	(予習) ダブルスの新たな戦略について調べる。 (復習) ダブルスのゲーム結果について確認し反省する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ゴルフの基礎スキルを修得する。 グリップとスタンスの練習	講義・演習 教員による模擬実践と説明後、実際にスキル練習(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	リップ、スタンスの基本スキルをある程度身につけて、時計の針の8-4、9-3スイングができるようになる。	(予習) ゴルフ全般について調べる。 (復習) グリップ、スタンスについて確認し、振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
10	ゴルフの基礎スイングを修得する。	演習 教員による模擬実践と説明後、実際にスキル練習(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	基本技術(L字・コの字・フルスイング)をある程度身につけることができる。	(予習) ゴルフスイングについて調べる。 (復習) ゴルフの基本スイングについて確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
11	ゴルフ・ラウンドの模擬実践をする。① 戦術・戦略を練ることで、前週までに獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 6ホール模擬コース設定しラウンド経験をしてスキルを確認(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)グループワークでアクティブ・ラーニング	・積極的にラウンドに参加して記録する。 ・ルールが守れている。 ・各スキルが使われている。	(予習) ルールとマナーについて調べる。 (復習) ラウンド実践について反省・確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12	ゴルフ・ラウンドの模擬実践をする。② 戦術・戦略を練ることで、前週までに獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 6ホール模擬コース設定しラウンド経験をしてスキルを確認(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)グループワークでアクティブ・ラーニング	・積極的にラウンドに参加して記録する。 ・ルールが守れている。 ・各スキルが使われている。	(予習) 戦術について調べる。 (復習) ラウンド実践について反省・確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	ゴルフ・ラウンドの模擬実践をする。③ 戦術・戦略を練ることで、前週までに獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 6ホール模擬コース設定しラウンド経験をしてスキルを確認(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)グループワークでアクティブ・ラーニング	・積極的にラウンドに参加して記録する。 ・ルールが守れている。 ・各スキルが使われている。	(予習) 戦術について調べる。 (復習) ラウンド実践について反省・確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	スナッグゴルフのラウンド実践をする。① 戦術・戦略を練ることで、前週までに獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 コース設定し正規ゲームへ向けてのスキルを確認(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)アグループワークでクティブ・ラーニング	・積極的にラウンドに参加して記録する。 ・ルールが守れている。 ・各スキルが使われている。	(予習) スナッグゴルフについて調べる。 (復習) ラウンド実践について反省・確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	スナッグゴルフのラウンド実践をする。② 戦術・戦略を練ることで、前週までに獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 コース設定し正規ゲームへ向けてのスキルを確認(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)グループワークでアクティブ・ラーニング	・積極的にラウンドに参加して記録する。 ・ルールが守れている。 ・各スキルが使われている。	(予習) スコアメイクについて調べる。 (復習) ラウンド実践について反省・確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力